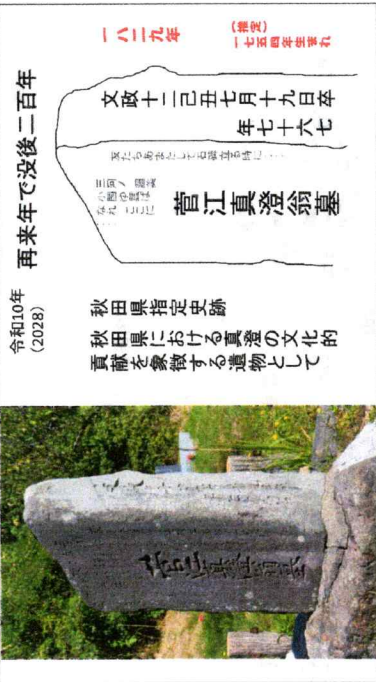


元県立博物館学芸職員 松山修



再来年で没後二百年
令和10年
(2028)

二八一九年
(推定)
一七四四年没後二百年

文政十二己丑七月十九日卒
年七十六七

区民の墓場として管理利用中……

三區へ 照理
心遣ひ願ふ
を以て 承け
替へ

菅江真澄翁墓

秋田県指定史跡
秋田県における真澄の文化的
貢献を象徴する遺物として



己丑七月十九日卒

文政十二己丑七月十九日卒

再来年で没後二百年
令和10年
(2028)

二八一九年
(推定)
一七四四年没後二百年

文政十二己丑七月十九日卒
年七十六七

区民の墓場として管理利用中……

三區へ 照理
心遣ひ願ふ
を以て 承け
替へ

菅江真澄翁墓

秋田県指定史跡
秋田県における真澄の文化的
貢献を象徴する遺物として



真澄はなぜ旅に出たか
「名所や旧跡、未知なる土地の事柄や習俗を記録したい」

旅人(文人)二百ともされる著作

旅人(文人)二百ともされる著作

(画人) 図絵約240図

うた人 歌 約5400首

くすし 採葉・調葉・治療

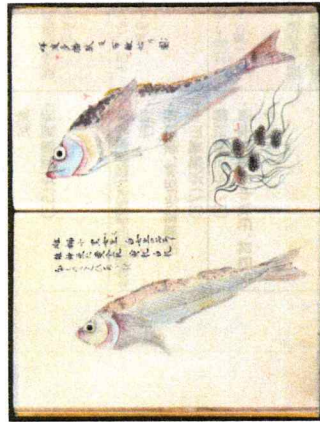
国学（和学）…古語や古い文献を研究。古歌古文の実作を重視。
本草学…薬草を中心に、薬に用いる動植物・鉱物を研究。尾張が盛ん。

水沢の米、鶴形・飛堀の大豆（マメ）・小豆、小懸の小羽板、荷湯場の鮎、切石の真根（シンコ）餅、常盤・原橋の川雑魚、石川畑草、花輪の火豚石（カド）、指沢の水、八森神社、岩館鮎、朴木須の鱒、大久保平の蛙、吹越の胡蘿蔔（ニンジン）、麗郭の牛蒡、能代の酒・饅頭、川戸河・棒箇崎・鯛淵の大根・蕨、大内田・二井田の瓜・西瓜、機織の草履、槍山納豆、中沢・新田・犬伏の根花餅、豊岡・森岡の乾麩筍（ホシカムシロ）、岩河の栗、田代の炭、湯河の薪、大口・浜田・蘆崎辺の鰻魚、釜谷の鰻

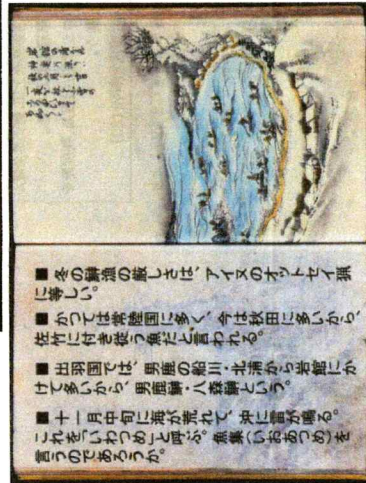
（出典：神代卷『日本郡名物佐来』）

(清心院堯慧『山本郡名物往来』)

八森驕(はたはた)



《雲の道與雲の出羽路》 秋田県立博物館蔵写本



■その満腹の横しは、トイ五のふりよて狐に奪つて。

■ふたは乾草園に多く、今は秋田に多いから、佐下にはおぼろけ集だと言われる。

■出羽国では、男鹿の磐船川北岸から岩鹿にわたりぬるか、蔵前藩・八幡町といふ。

■十一月中に成山集れて、東山に飛散る。

■ふたはふたといふ。魚集（におぼろけ）を記つたおぼろけ。

菅江真澄の足跡図

—— 実測は日記に拠る。
----- 望遠は推定のもの。
※後年の下巻・津路・秋田の製は、足跡が込み入っているため、色づけだけで示している。

[illegible]

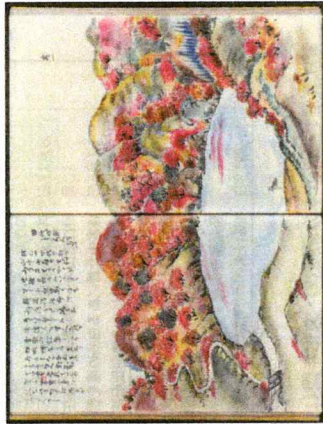
《宋史·王象之傳》

強坂のやかたを馬にて出た。石川とて
煙酒^{タバコ}の名だたる村を弓手に、……



《靜地園憲秋田郡三》 《百白之園(興文一)》

田代興 (なだきむね)



金樹(金木)の紅葉 焚の原木
ナラ、クリ、クヌギなど堅木の総称
「真木(松杉檜)以外を、かなぎと呼んでいる」

《集古錄》



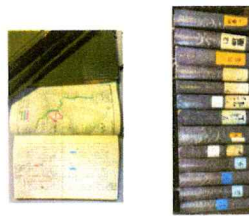
鶺鴒こりやうの木きのつれに群れ、
 朱鷄との巢おにもりてその
 声こゑのかまびすし。

現代語訳(例)

平凡社東洋文庫(全五巻)
→ 現在は、「平凡社ライブラリー」

原文。著作の全体像をとらえる

未来社『菅江真澄全集』全十三冊



菅江真澄のカラーの図絵を見るには

国立公文書館ウェブサイト
↓「**真澄遊覧記**」で検索

大館市図書館ウェブサイト
↓「大館本」の全頁が見られる。